

大阪市立 小路小学校

校長名	湊 健次
所在地	〒544-0002 大阪市生野区小路2-24-40
電話番号	06-6752-0061
FAX番号	06-6751-8751
HPアドレス	https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671489



主な学校行事

4月	入学式 年度はじめ懇談
5月	校外学習 土曜授業（防災・引取訓練）芸術鑑賞会
6月	いじめについて考える日 いのちについて考える日 臨海学習 プール開き
7月	プール終了 期末懇談 ラジオ体操（PTA行事）
8月	小路たそがれカーニバル（地域行事）
9月	PTA家庭キャンプ（PTA行事）学校公開
10月	運動会 校外学習 学習参観 就学時健康診断 国際理解発表会
11月	修学旅行
12月	期末懇談 クリスマス会（地域行事）
1月	学習参観
2月	学校保健委員会 卒業遠足 小路まつり（PTA行事）音楽発表会（土曜授業）
3月	卒業を祝う会（児童会行事）卒業式 修了式

教育目標

「つながり合い、認め合い、学び合う教育の創造」

校訓

- 心も からだも すこやかな子ども
- 何でも 進んでする子ども
- 思いやりのある子ども

令和6年度全国学力・学習状況調査

平均正答率（%）	国語	算数
	63	55

結果概要

- 大阪市の平均正答率に比べ、国語科は－3ポイント(昨年：－8ポイント)、算数科は－7ポイント(昨年：－10ポイント)となり、昨年と比べ国語、算数科いずれも成績向上は一定の成果である。特に国語科については大阪市平均に迫ってきた。
- 児童質問紙の結果から、「自分にはよいところがあると思うか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」「学校に行くのは楽しいか」に対して肯定的な回答をしている児童の割合は、大阪市と比べて高くなっている。
- 家庭での学習のありかたについて課題が見られたため、児童が自ら家庭学習を行うようになるよう、各家庭と学校が連携して取り組んでいる。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横び (回)	20mシャトルラン (秒)	50m走 (秒)	立ち幅こぎ (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	16.62	20.54	28.23	36.00	30.38	9.55	138.92	23.15	48.31
女子	15.16	16.11	40.16	34.11	27.68	9.99	127.21	13.84	49.68

結果概要

- 男子は「上体起こし」「握力」「ソフトボール投げ」でTスコア50を上回った。特に「ソフトボール投げ」は大きな成果が見られた。逆に「20mシャトルラン」「50m走」「長座体前屈」「反復横び」で課題が見られた。運動特性に置き換えてみると、本校は大きな力を出せる能力【力強さ】に成果が見られ【体の柔らかさ】【すばやさ】をさらに伸ばすことで、よりバランスの取れた成長を促すことができる。
- 女子は「ソフトボール投げ」「長座体前屈」でTスコア50を上回った。逆に「握力」「上体起こし」「反復横び」で課題が見られた。運動特性に置き換えてみると、【体の柔らかさ】【力強さ】に成果が見られ【すばやさ】【ねばり強さ】【タイムリジッドのよさ】を伸ばすことでさらにバランスの取れた成長を促すことができる。



標準服

標準服はありません

重点目標

- 豊かな心をはぐくむ教育
 - ・ 安全で安心できる学校教育環境の実現
 - ・ 音楽を親しむ機会の創出
 - ・ 外国人教育（国際クラブ・国際理解教育）の推進
- 学力向上に向けた教育
 - ・ ICTを活用した教育の推進
 - ・ 思考力・判断力・表現力の基盤となる言語力の育成
 - ・ 専門性を高め、指導力を高める研修

本校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

【国語】

学力向上支援チーム事業の授業支援やブロック予算でのデジタル新聞などの継続した活用等も成績向上の要因である。今後、主体的で対話的で深い学びを実現する授業改善を進める。

また、ICTを使った授業の予習や導入につながる家庭学習を工夫していく。言葉の力や読解力をつけるための取組、朝学やモジュールタイムに音読や視写、言葉のプリントなど基礎的な学習を取り入れる。

【算数】

基礎、基本を身につけるための放課後学習、モジュール学習が成績向上の要因である。今後もスキルアップテスト（本校独自の作成プリント）の取組強化のほか、基礎計算につまづきのある児童を対象とした放課後学習を進めていく。

【その他】

大学から指導者を招聘し授業研修会を1年を通じて開催するなど、ポジティブ行動支援を進めており、継続して開催していく。

きる。

- 体力合計点の平均は、男子がTスコア45.6と昨年の49.0よりも低く、また、大阪市と全国よりも低かった。また総合評価の「D」は30.8%だった。

女子については、Tスコア45.3となっており、また、総合評価「D」も36.8%であった。体力合計点から、男子・女子とも課題が見えられた。

本校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

学校教育全般を通して、健康や体力保持増進する力の育成をめざし、教科体育の内容や運動遊びの充実を通して運動の日常化を図り、児童の体力向上への取り組みを継続的に実施してきた。「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の質問に対する肯定的な回答は男子92.3%、女子78.9%であり、男子、女子ともに全校平均、大阪市平均を下回る結果となった。

運動意欲を引き続き高め、児童の心情を大切にしたい授業づくりを推進する。特に発達段階に応じた様々な運動経験をバランスよく味わわせていくことが大切であると考えられることから、実施可能な範囲で体力保持増進の取り組みを組織で検討し進めていく。

一週間の総運動量においては、60分未満の児童の割合は男子0%、女子21.1%となり、男子は全国平均、大阪市平均を上回ったが、女子については全国平均及び大阪市平均いずれも及ばなかった。これは習い事や学校施設開放などで経験している結果が反映されたものと考えられる。

校長先生のメッセージ

明治6年11月15日に設立し、令和7年度には創立152年目を迎えた歴史の古い学校である。地域とのつながりが深く、「子どもは地域の宝」を合言葉に、学校、保護者、地域一体となって子どもを育てていこうとする姿勢に支えられた学校である。

一人一台タブレット端末やICT機器、AIドリルの積極的な活用を図ったり、Teamsによる双方向通信の取組を推進したりすることにより、ICTを活用した学習活動にも積極的に取り組んでいる。また、音楽発表会や音楽集会などの音楽活動にも力を入れ、心の教育にも積極的に取り組んでいる。

運営に関する計画

計画のエッセンス

- ポジティブ行動支援を研究し、子どもの自尊感情を高める
- 基礎基本の学力の定着と自己肯定感を高め、学ぶ意欲を高める授業改善
- 音楽教育と生活指導の充実による「思いやりのある子ども」の育成

【中期目標、年度目標等】

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。
- 令和7年度末の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいか」という意識に、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 校内調査「学校定感アンケート」の6項目それぞれに対して「はい」と回答する児童の割合を年度はじめより5ポイント増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

本校では、日々の音楽科の授業に加え、音楽発表会（学年ごとの演奏や全校合唱など）や「[本物]に触れる音楽鑑賞会」など様々な取組を行っている。また、課外活動として「小路鼓笛隊」があり、活発に活動している。このような音楽活動により、子どもたちに「できた!」「楽しい!」という達成感、充実感を味わわせ、友達とかかわり合い、高め合う学びの場とすることができている。



特色ある学習活動

本校には国際クラブ（民族学級・中国学級）があり、学校全体で国際社会を生き抜くための国際理解教育にも取り組んでいる。さらに近年、中国をはじめ様々な国や地域につながる児童が入学しており、これからの国際社会の縮図となつて多文化共生教育にも取り組んでいる一方、日本の伝統的な文化の学習にも力を入れている。また、本校には日本語教室が設置されており、本校の子どもだけでなく日本語指導の必要な他校の子どもたちも学んでいる。



家庭・地域等との連携

学校施設を利用した家庭キャンプや冬まつりなどのPTA主催行事や、小路たそがれカーニバルなどの地域主催行事など多く行われている。「子どもたちのために」を合言葉に熱心な活動が行われてきた。また、地域の方々をゲストティーチャーに招いた取組なども多く、PTAや地域とのつながりが深い。さらに、登下校の見守り活動だけでなく、集団下校時の安全確保のための協力など、本校は「子どもは地域の宝」と子どもたちを守り、そして支えてくださる地域にある学校である。



特色ある学習活動

【スキルアップテストや日本語検定、子ども新聞を使った学習の取組】

本校では、基礎基本の学力の定着を図るため、朝学の時間やモジュールタイムを活用して、算数の基礎計算や日本語検定に向けた学習、子ども新聞を読んで自分の考えをまとめる学習などに取り組んでいる。また、新聞閲覧コーナーや読書コーナーを教室前に設け、自由に読めるようにすることで、子どもたちが言葉や文章に触れる機会を多くもてるよう努めている。



特色ある学習活動

【豊富な課外活動】

本校には伝統ある課外活動クラブ「小路鼓笛隊」があり、体育施設開放事業として放課後の学校施設を利用したサッカー、ミニバスケットボール、ドッジボールも行われている。また、進学先の東生野中学校のグラウンドではラグビースクールも行われており、多くの子どもたちが参加するなど、多様な活動に主体的に参加することができる。

